Q&A 新田山を含めた周辺環境の整備を／自治会のあり方と加入促進策の充実を

和田 美奈 議員
MINA WADA

栗栖川の河川整備計画に伴う周辺環境の整備について

問 治水対策として必要な河川整備であり、周辺環境も良くなると理解しているが新田山や墓地へのアクセスなど一部不便になる点もある。新田山は新宮地域の方にとって思い出深く、精神的にも大切な場所。今回の工事に伴い、駐車場の整備や登り口の整備など、プラスの発想でまちづくりに取り組み、周辺環境全体をよくしていく議論になるようにと考えるがどうか。

答 まちづくりを進めるためには治水対策としての河川整備計画を進めることは重要。さらに、住民はもちろん、龍野北高生の通学時の歩行空間が確保され、利便性の向上が図られる。墓地へのアクセス等ご不便をおかけするデメリットも生じるかとも思うし、できることできないことはあるが、何が一番よいのかを国、県、市、地元の皆様の意見を参考に、進めていきたい。

自治会のあり方と加入促進策

問 高齢化や役員のなり手不足、コロナ自粛による自治会の行事自粛などによって自治会の継承も難しくなってきている。しかし、コロナ対応や防災対策においても、自治会の役割は大変大きい。組織の底上げとともに、加入促進や役員のなり手確保などの方策が必要であり、他市では「自治会マニュアル」等を作成しているところもあるが、本市の考えはどうか。

答 新しい自治会長が窓口に相談に来られた際には、個別に対応している。連合自治会の総会でも市の助成事業などについて説明している。マニュアル作成については、必要があれば、連合自治会とも協議して検討していきたい。

その他の質問事項
- コロナ禍における熱中症対策
- コロナうつ、フレイル予防
- ワクチン接種について

Q&A “市長選挙立候補への意思”と“健全な行財政運営について”

松下信一郎 議員
SHINICHIRO MATSUSHITA

問 市長選挙立候補への意思を問う。

答 これまで重点的に取り組んできた「子育て支援」、「人口減少対策」、「経済の活性化」をより一層深化させることが使命と考え、「継続は力なり」の言葉のとおり、引き続き「未来応援 住みたいまち たつの」の実現に向かい、市長選への出馬を決意した。

問 新市建設計画での令和3年度の歳入・歳出予定額と令和3年度予算の差額発生の原因・背景を問う。

答 新市建設計画の財政計画は、平成31年において、合併特例債が活用できる令和7年度までの計画を策定したもので、単年度の比較では新型コロナの影響のように策定時には想定されなかった要因等により計画額との差が生じている。

問 新型コロナウイルスが本市の行財政運営にも影響があるものと推察するが、令和3年度目標値の将来負担比率45・0％以下、市税収納率98・7％は達成できるのか。

答 将来負担比率は、普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、令和3年度予算ベースで8.9％と試算している。市税収納率は、令和2年度決算見込みによる現年分の収納率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による徴収猶予措置を含めたものが99・37％となる。

問 下水道事業会計が企業会計となり、下水道使用料の段階的な引き上げが必要との説明を受けているが、下水道事業の財政計画の見直しは進んでいるのか。

答 今後経営環境が厳しくなると予想されることから、令和3年3月にたつの市下水道事業経営戦略を策定したところである。また、今後の人口減少への対応として、農業集落排水施設の統廃合等を踏まえた最適化整備計画の策定を予定している。